

# 議会だより 入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 193

2020年4月27日



じゅわ〜と  
にゅーぜん

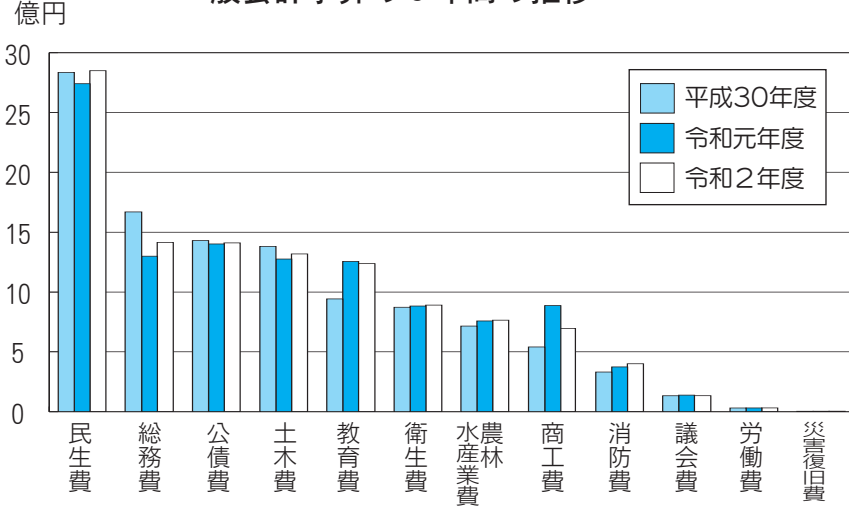
3月  
定例会

## 目次 新しい保育所で元気いっぱい! (いいの保育所)

新庁舎整備いよいよスタート	2P
水中ドローンで漁場調査 (常任委員会レポート)	7P
町政を問う 代表・一般質問 (9議員)	8P
特別委員会レポート	17P
特集! 保育料の軽減・無料化と副食費無料化	20P

# 新庁舎整備いよいよスタート!

一般会計予算の3年間の推移



## 新年度予算の特徴

3月定例会は3月3日から19日までの17日間開会し、町長から提案された令和2年度の一般会計予算と特別会計予算5件、令和元年度補正予算4件、条例の制定や一部改正など15件を審議し、すべて可決した。また、11日、12日は代表・一般質問を行い、9人の議員による論戦が交わされた。

一般会計 111億6千万円  
特別会計 44億7千万円(5会計)

令和2年度の一般会計予算は、前年度より0.9%の増となり、2年連続で110億円を超える大型予算となった。主な増額の要因は、新庁舎の整備着手に向けた設計費等の計上や中央公園の再整備が本格化を迎えることなどによる。最重要課題である「ストップ人口減少」の実現に向けた効果が期待される施策へ優先的に配分された予算となった。

### ストップ人口減少! 選択されるまち入善を目指す予算

#### (1) 子どもを産み育てやすい環境づくりによる「出生数の増」

- ・入善小学校の大規模改造工事に併せて学童保育室を増設する。4323万円
- ・インフルエンザや定期予防接種に加え、新たにロタウイルスワクチンを定期接種の対象とする。3120万円
- ・これまでのデイサービス型、訪問型の産後ケアに加え、宿泊型のケアも実施する。425万円

#### (2) 健康寿命の延伸による「自然減の抑制」

- ・認知症高齢者グループホームの町内2施設の整備に支援する。8985万円
- ・加齢によって心身が衰えた状態「フレイル」を予防するため、地域で支え合う介護予防事業を拡充する。169万円

#### (3) 一ターンのやUターンの促進と地域活性化による「社会増」

- ・移住者の掘り起こしを強化するため、今までの取組みに加え、町内全世帯に縁故者の紹介を依頼する。173万円



入善小学校に学童保育室を増設

## 条例の制定と改正

次の条例案を審議し、可決した。

- 入善町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定

- 入善町職員定数条例の一部改正  
町民へのサービスを一層向上させるため職員定数を改正する。

- 入善町印鑑条例の一部改正

- 入善町保育所条例の一部改正  
飯野保育所、芦崎保育所を統合した保育所の名称を「入善町立いいの保育所」とする。

- 入善漁港管理条例の一部改正

- 入善町道路法に基づく町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正

賛成全員

- 職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正

- 入善町国民健康保険税条例の一部改正  
国保税の課税限度額を、国の水準に近づけるため引き上げる。

- 入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

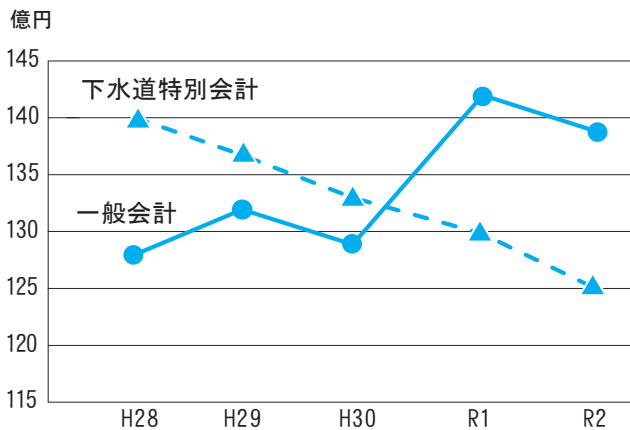
- 入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 入善町営住宅条例等の一部改正

賛成多数

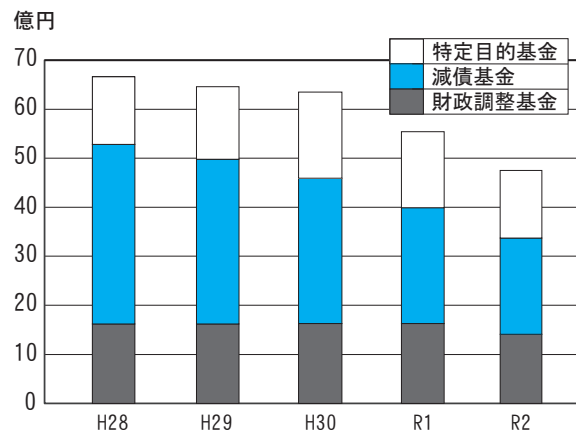
## ◎町の貯金と借入金

一般会計と下水道会計の借入金残高



借入金残高・基金残高ともに令和元年度、2年度は見込額

一般会計の基金（貯金）残高



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金  
減債基金：借入金の償還に充てるための貯金  
特定目的基金：特定事業のための貯金

### その他の主な予算

- 入善駅をより利便性の高い拠点施設とするため、駅前ロータリーを改良する実施設計に取組む。 530万円
- 水中ドローンを活用して行う漁場調査に支援する。 92万円
- 海洋深層水水産振興施設で取組まれている、さまざまな事業を支援するため新たに専用の井戸を整備する。 2200万円

- 教員の業務の負担軽減と効率化を図るため、校務事務をシステム化する。 325万円

- イチゴ栽培の販売拡大を目指すため、ビニールハウスの導入に対して支援する。 900万円

- 新たな海洋深層水取水施設の増設に向け基本計画を策定する。 550万円
- 発達障害への対応として専門員による保育所巡回のほか、予約制で個別相談を受け付ける。 47万円
- 老朽化し耐震基準を満たしていない庁舎の整備を推進する。 1億5366万円

- ひばり野小学校の複式学級解消のため講師を1名配置する。 493万円
- 小学校体育館の照明器具等の落下防止および照明のLED化工事を実施する。(上青、黒東、桃李、ひばり野) 2869万円

- ふれあい広場の改修など、中央公園のリニューアル整備を進める。 1億450万円

# 討 論

反対討論 松田 俊弘 議員

新年度予算では屋内多目的施設や役場庁舎の整備、シーサイドロード（仮称）整備などの大型事業で、投資的経費が約20億円にも達する。その財源の半分が借り入れだ。

生活道路改良などの住民要望の約4割が3年以上放置されているのに、関連予算は2年連続の削減となっている。対応する技術職員の不足も改善されていない。

乗合タクシー「ウチマエくん」は、当日午前の予約が取れない状態が続いている。

基金が潤沢にあるからと大型公共事業を優先するのではなく、住民の暮らしや福祉をもっと大切にす

賛成討論 松澤 孝浩 議員

新年度一般会計予算は111億5980万円で、前年度当初予算と比較し0.9%の増、2年連続で110億円を超える大型予算となった。

第6次総合計画並びに総合戦略は、いずれも令和2年度に最終年度を迎える。

計画期間内に実施してきた事業の効果を検証し、経常経費の抑制に努めているなど、新たな課題を見極めながら、第7次総合計画を見据えた予算となっており評価したい。

今後、新庁舎や屋内多目的施設の建設など、大型事業の整備が重なることから、予算執行の際には財源の確保に努力するとともに、財政の健全化に努めていきたいと思います。

## 令和元年度

3月補正予算を可決

一般会計

4億1438万円を増額し、  
総額124億6328万円とする。

### ◎一般会計の主な事業

#### ○学校教育事務費

1億4178万円  
国のGIGAスクール構想の実現に向けた小学校の通信環境整備を図るため、高速大容量の校内通信ネットワークを整備する。

#### ○学校施設維持管理費

3億4600万円  
入善小学校の第2期大規模改造工事を実施する。

#### ○運動公園等管理運営費

9000万円  
中央公園のテニスコート改修のための工事費を計上する。1面増設し、新たに5面へ拡張改修を行う。

### ◎特別会計

賛成全員で可決

#### ・国民健康保険特別会計

1億436万円を増額

#### ・下水道特別会計

1815万円を減額

#### ・後期高齢者医療特別会計

1459万円を増額

賛成全員で可決

## 用地の売却について

令和元年9月に取得した工場用地の造成工事が完了したことから、カナヤママシナリー㈱と土地売買契約を締結し、用地の売却処分を行う。

町は、企業誘致を推進するため町内に新企業が進出する際に用地を取得し、町の負担で造成を行い、工事完了後、工場用地として売却している。

#### ◆カナヤママシナリー㈱工場用地

売却用地	上飯野1260番1	外3筆
面積	1万7027.17㎡	
売却額	6272万3500円	



カナヤママシナリー㈱建設予定地

### 3月定例会の議決状況

議案番号		氏名												
		鍋嶋慎一郎	鍵田昭	池原純一	井田義孝	本田均	中瀬淳哉	田中伸一	五十里忠茂	五十里国明	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案第1号	令和2年度入善町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第2号	令和2年度入善町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第3号	令和2年度入善町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和2年度入善町育英奨学資金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和2年度入善町下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和2年度入善町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和元年度入善町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和元年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和元年度入善町下水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和元年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	入善町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第13号	入善町職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	入善町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第16号	入善町保育所条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第18号	入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第19号	入善漁港管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	入善町道路法に基づく町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	入善町営住宅条例等の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第22号	字の区域の変更及び廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	企業立地用地の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# レポート

## 総務 常任委員会

国がマイナンバーカード普及促進に9月からポイント還元

Q マイナンバーカードの取得率を上げるための取組みは。

A カード取得者がキャッシュレスで買い物をした場合、上限5千円分のポイント還元をすることで普及促進を図る。

令和2年度から資源物回収に引き取り手数料が発生

Q 資源物回収収益金が昨年度と比較して100万円程減額しているがなぜか。

A 資源物の回収量は増加しているが買い取り単価が下がっている。

小型家電のリサイクルは売払益を得ていたが、逆に引き取り手数料が発生した。その分の差額で減額となった。



花月公園北側の小型家電リサイクルボックス

自主防災組織の訓練実施に活動助成

Q 自主防災組織防災力向上支援事業に100万円計上しているが内容は。

A 地域の防災活動に関するもの（上限5万円）、防災資機材の整備（上限5万円）で一地区の補助上限は10万円である。

また、集落単位で防災組織が訓練を実施すれば1万円の活動助成をする。

Q 集落単位で自主防災組織の形成と言っているが、末端まで浸透しているか。

ない。今後どう取組むのか。

A 町としては集落単位で結成し、顔の見える形での訓練をお願いしている。

Q 避難所運営資機材整備費298万円の内容と今年度以降の購入計画は。

A 備蓄品と資機材は計画どおり整備する。

新型コロナウイルスの影響もあり、避難所での備蓄状況を確認している。

高齢者の生きがい・健康づくりに健康マージャン大会を開催

Q 生きがい・健康づくり推進事業費41万円を予算化しているがその内容は。

A これまでベタンクやゲートボールなどのスポーツが主であったが、新たにねんりんピックで正式種目になっている健康マージャンの大会を予定している。福寿会などの

協力を仰ぎながら進めた。

Q 健康マージャン教室を開いては。

A まずは、大会をやってみて参加者からの要望があれば、次のステップとして考えていきたい。

ロタウイルス予防接種が10月から義務化

Q 予防接種委託料に新たに追加されたロタウイルス予防接種の内容は。

A ロタウイルス胃腸炎に対応するワクチン接種が10月から義務化され、定期予防接種化される。

「それ行け！結婚プロジェクト」の充実

Q 「それ行け！結婚プロジェクト」の充実として追加されたカップルフォローアップ事業の内容は。

A カップル成立後の交際が進展するよう、マニュアルを作成し、世話やき

隊とともに後押しをする。

シルバー人材センターの会員が増加

Q シルバー人材センターは人員不足と聞か

A 平成30年度末の会員数は302人で前年度より20人程増加している。

Q 受託している仕事量はどのくらいか。

A 平成30年度の実績で、仕事に就けた人は会員の約9割で、受託額は1億4600万円程だ。

庁舎内の正規職員に出入勤管理システムを導入

Q 新年度に新たに出退勤管理システムが導入されるが、対象となる職員は。

A 対象は庁舎内の正規職員で、ICカードの読み取りを想定している。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

着実に成果が上がっている人材マッチングフェア

Q 人材マッチングフェアに135万円余を計上しているが、実績はどうか。

A 令和元年度8月開催時では、32社59名が参加、採用は10名だった。令和2年2月開催時では、31社62名が参加した。現在まで採用はないが、これから採用されると予想される。

Q 職種によって、採用の傾向はあるのか。

A 介護施設の採用が多い。次に製造業が多く、建設業は今まで採用が無い。

さらに研究を進めるため新しい糖度計の購入に補助

Q NEW農チャレンジ

栽培研究用機材導入事業で、入善高校農業科の糖度計購入を補助することだが、その理由は。

A 現在ある糖度計は、スイカを割らないと糖度を計測できない。割らなくても計測できる糖度計を購入することにより、収穫時に数日置けば良いのか、すぐ出荷すれば良いのかなど、さまざまな研究ができる。

その結果を生産農家と共有していきたい。

水中ドローンを使った漁場調査で新たな可能性を模索

Q 漁場調査事業では水中ドローンを使用することだが、どのようなものか。また、どのような調査をするのか。

A 水中ドローンは小型の無人潜水艇のようなものである。

平成26年度から29年度に作った神子沢と田中の海岸沖の藻場の魚種や定着状況を確認する。

入善漁協ではアワビやヒラメを放流しているが、クロダイやアカムツの稚魚も育てているので、優良魚種を選定し、可能性を模索したい。

安全・安心のための橋の修繕

Q 橋の修繕に4500万円計上しているが、どのような修繕なのか。

A 令和2年度では、2つの橋を修繕し、長寿命化を図る。

一つは寺田川に架かるコンクリートの橋で、見た目はきれいだが裏側の鉄筋が露出し、コンクリートが剥離している。

もう一つは下山橋で、橋台にクラック、床盤にひび割れ、つなぎ目部分の収縮部に劣化が見られるため修繕する。

実績を上げていく安心移住プロジェクト

Q 令和2年度も安心移住プロジェクトに取組

むとのことだが、実績はどうか。

A 令和元年度2月末現在では移住体験住宅の利用が7件あり、2世帯5人が移住している。

また、移住相談会からは1世帯2人が移住している。近居、同居に支援をする安心定住促進事業などによる移住は22世帯59人だ。

Q 空き家実態調査から年数が経っているが、その後の状況は確認しているのか。

A 令和2年度は町から地区に聞き取りをしてまとめていく計画だ。

危険度が高いランク3、4については調査をし、解体助成を進めていきたい。

令和2年度もひばり野小学校に講師を配置

Q ひばり野小学校で複式学級にならないように町で講師を配置しているが、今後

も対応しているが、今後

いくのか。

A 現在の5、6歳児が1人増えた場合は複式にならないが、増えなかった場合は、複式学級が2つになる。

県内の他自治体では、2つの複式学級に対し講師を2人配置している所は無いため協議が必要だ。町も頑張っていくが、地域の協力も必要だ。



町独自に講師を配置しているひばり野小学校



新庁舎建設予定地

## 新庁舎整備による 中央公園付近の全体構想は

### 町長 第7次総合計画で示したい



松澤 孝浩 議員（アクセス）

**問** 現在の中央公園付近は、多くの公共施設が集まっている。各施設と連携を図り、新たな起点として新庁舎整備に取り組む

なか、町長が描く全体構想は何か。

**笹島町長** 中央公園北側駐車場に隣接した民有地を建設予定地とした。

選定理由は、災害時の

応急復旧や被災者支援など、対応拠点の機能が迅速かつ総合的に発揮できるほか、その周辺エリアに、健康、福祉、介護、子育て支援などの各施設が設置され、平常時から各機能が果たされてきたことによる。

また、施設間相互の連携強化による行政サービスの向上や行政機能の効率化なども期待できる。

中央公園を中心としたまちづくりの明確なグラ

ンドデザインについては、一朝一夕に描くことは難しい。全体構想は、令和3年度からスタートする第7次総合計画の中で示したい。

**新庁舎整備のテーマと必要な機能は**  
**新庁舎整備基本構想の策定の際に示す**

**問** 新庁舎整備のテーマは何か、必要な機能の検討は。

**町長** 新庁舎では、「町民の安全・安心を確保し、誰もが使いやすい機能的で環境に配慮した庁舎」の実現を目指す。また、付加的な機能として「町民交流機能」や

「利便・民間サービス機能」の検討も考えられる。

各種機能については庁内全職員を対象に提案や意見などを募り、庁内検討委員会で査定している。今後、議会特別委員会や新庁舎整備基本構想策定委員会で見解を求め、基本構想の策定を進めていく。

**新庁舎付近に小水力発電を導入しては**  
**導入も一つの方向性として考えられる**

**問** 「持続可能な社会の構築」をテーマに、当町の環境への取り組みを発信することができないか。

また、「名水の町 入善」をPRする上で、自然の恵みである水を活用した小水力発電を新庁舎付近に導入してはどうか。

**町長** 町では、再生可能

エネルギーである太陽光、風力、小水力などの発電設備を導入し、環境問題への取り組みを積極的に進めてきた。

再生可能エネルギーの導入は、災害時の「バックアップ機能」、電力をつくり出す「創エネ」、「省エネ」など、「エネルギー収支ゼロ」を目指した庁舎の整備も一つの方向性として考えられる。

いずれにしても、環境に配慮した整備も考えていきたい。

これまでの再生可能エネルギーへの取り組みは、町のイメージアップにつながり、地域経済の活性化や観光の振興にも寄与すると考えられる。

今後も、当町が環境に優しく、自然豊かな魅力のあるクリーンな町となるようPRに努めたい。



学校の新型コロナウイルス対策  
子どもにもストレスがたまらないよう柔軟に  
教育長 状況を見極めて柔軟に対応したい



学童保育で勉強する子どもたち

**問** 安倍首相の突然の一斉休校要請で、教育現場や保護者の間で混乱と不安が広がった。

住民からは「子どもだ

けで町の体育館に行ったら返された」「残った授業はどうなるのか」などの声が寄せられている。子どもたちはストレスがたまるとは。状況に応じ、柔軟に対応すべきだ。

また、急きよ学童保育が実施されたが、指導員の皆さんの負担が大きい。教室でも児童を受け入れているのだから、学童保育も教室で教員に見てもらえばどうか。

**小川教育長** 日々変化する状況を見極めて柔軟に対応したい。

学童保育は登録者の4割しか来ておらず、混乱はない。今後の状況を見

ながら対応したい。**問** マスクは感染予防対策に効果がないなどいろいろな意見がある。

町民に予防の正しい知識、感染が疑われる場合の受診や検査の手順を周知すべきだ。

**福沢元気** わくわく健康課長

広報やみらいテレビ、ホームページ、ポスター、チラシの配布、緊急メール等で正しい情報が届くよう努める。

**屋内多目的施設はどのような利用を想定か**

雨天時に子どもが遊べ、部活動等のスポーツに

**問** 町は5年ほど前から、テニスコートが4面入る

多目的施設を総合体育館横に建設する計画だったが、国の補助対象とならないことが分かり、急きよ駐車場に変更し、昨年整備した。

現在は、中央公園内の古い駐車場の敷地に、新たに約5億5千万円をかけ屋内多目的施設を建設するとしている。

施設には、人工芝でテニスコート2面相当分の多目的広場を設け、令和3年度中に完成する予定だ。

しかし、施設の利用目的が漠然としている。とかく多目的は無目的と言われるが、どのような利用を想定しているのか。

**町長** 屋内多目的広場は、子どもたちや子育て世代

の親子が雨の日でも遊べる施設利用を第一に考えているほか、中学校の部活動やフットサル、テニスの練習、キャッチボール、ドリブル練習等の利用を想定している。

さらには冬場の運動不足解消など、さまざまな個人・クラブのスポーツ活動の利用や各種展示会、イベントなど多様な利用が可能と考える。

また、災害時の緊急避難施設に充てる。

**問** 平日昼間は、勤労者や小中学生などの利用はあまりない。高齢者がパークゴルフやゲートボールなど利用できるようにすべきだ。

**町長** 高齢者の利用も検討している。



松田 俊弘 議員（日本共産党）

## 令和2年度予算の「力強い予算」とは

町長

### 新庁舎整備など町の将来像を描く力強い予算だ



佐藤 一仁 議員

**問** 二年連続の110億円超の新年度予算を「力強い予算」と位置づけられた。どのような点か。

**町長** 令和2年度予算



新庁舎建設予定地

は、111億5980万円とした。令和元年度補正予算と合わせると、118億2千万円余りとなる。中央公園整備などの大型ハード事業や、入善駅前環境整備に向けた設計業務など、次期総合計画を見据えた事業の検討にも取組む。

新庁舎の本格着手に向けた予算も計上するなど、町の将来像を描く非常に力強い予算だ。

**問** 令和元年度からの2年間で、町の基金残高が約18億円減少する。今後何年間続くのか。

**竹島企画財政課長** 令和2年度末の特別会計を含む基金残高は50億9千万

円余りとなる。一般会計分については、財政調整基金や減債基金、公共施設等整備基金などで約16億円の減を見込む。

今後にも目的に沿って、計画的で堅実な運用に努める。

**新幹線ライナーの9月末打ち切りは唐突だ**  
町民や運行事業者に順次周知を図っていく

**問** 新幹線ライナーの9月末打ち切りの理由は、梅澤キラキラ商工観光課長

利用者や年々減少しており、公共交通最適化調査や実証実験をしながら見直しを図ってきたが、利用増加には結びついて

いない。予約制の検証もしたがメリットがないことなどから、9月末で運行を中止することとした。

**問** 実証実験の実績が周知されていない。唐突な事業打ち切りだ。町民や事業者の了解は得たか。

**梅澤課長** まだ、特別委員会以外には公表していないが、予算成立後に約半年間かけて町民や事業者へ周知したい。

**問** 新幹線ライナーの代替案はあるか。

**梅澤課長** 現段階で有効な代替案はないが、引き続き新幹線の二次交通対策は研究していく。

**コロナウイルス被害の事業者への助成は**  
国、県と協力して安定化の下支えをする

**問** 新型コロナウイルスが原因で、予約取り消しを

受けた事業所の減収などの被害額調査をすべきだ。

**梅澤課長** 町内商工業者の被害調査は実施していない。町内の飲食、宿泊、観光業において経済などへの影響を懸念している。町商工会などと連携して把握したい。

**問** 被害を受けた事業者への助成はできないか。

**梅澤課長** 国が経済に関する対策を講じている。

県商工会連合会や中小企業団体中央会、県よろず支援拠点などに「経営相談窓口」が設置された。県商工労働部内にも窓口が設置され、経営の安定化、下支えを図っており、町も協力していく。

- ◎その他の質問
- ・放置船舶について
- ・洋上風力発電について

今年のような暖冬の際、除雪協力業者に維持費などを支払うべきではないか  
建設課長 追加の支援策を行うことは難しい



除雪協力業者の減少に歯止めを

**問** 除雪シーズン前に、除雪業者に対する機械整備費などに充てる準備金はあるが、除雪シーズン終了時にも出動機会が少

なかつた業者に機械の維持費などを支払うべきではないか。

**窪野建設課長** これまで出来高払いのみだった除雪協力業者への支払いは、平成17年度の暖冬を契機に見直し、毎年12月に機械の修繕費、法定点検費、車両保管費等を含めた機械の維持管理費として固定費を支払っている。

この固定費の趣旨から追加の支援策を行うことは現状では難しい。

**問** 業者数の減少が危惧されるが、対策はあるか。

**窪野課長** 除雪協力業者数は、10年前の平成21年度の37社から今年度は32

社と、ここ10年間で5社の減少となっている。

全国的な公共事業の縮小や暖冬による除雪出動機会の減少、オペレーターの高齢化、保有機械の老朽化などが問題となっている。

今後も減少していく可能性が高いと考えており、町内の建設業者等にアンケートを実施し、新しい事業者の掘り起しも図っている。

除雪協力業者の維持、確保は、町民の安全で安心な暮らしを支える上で大変重要である。今後、状況を把握し、町民サービスの低下を招かないよう努めていく。

**害獣出没時の連絡体制をいま一度改めるべき**  
**住民、捕獲隊への初動対応の整備を行った**

**問** 害獣の目撃通報が入った際の初動体制、連絡体制をいま一度改めるべきではないのか。

**小堀がんばん農政課長** 12月議会での質問を受け、町、消防署、警察署で協議した。

住民からクマ・イノシシ出没の目撃情報が町、消防署、警察署のいずれかに入った時点で遅滞なく情報共有を行い、町防炎行政無線、緊急情報メールを発信できる体制をとり、周知を行うこととした。

加えて、緊急情報メールに新たに「有害鳥獣捕獲隊」のグループを設け、捕獲隊員がパトロール等の捕獲活動を迅速に実施できるように連絡体制の整備を行った。

**問** 昨年のイノシシによる人身事故と、近年の害獣の出没数の増加を踏まえ、近隣市町での目撃情報でも緊急情報メールや防炎行政無線などで町民に知らせるべきだ。

**小堀課長** 近隣市町との連携を密にし、目撃情報等については、町民が混乱することの無いようその緊急性を正確に判断し、迅速に周知することに努めていきたい。

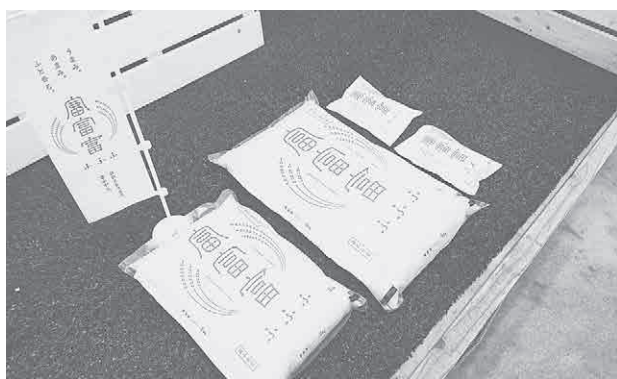


鍋嶋 慎一郎 議員

「富富富」米飯給食の月一回は少ない  
町長 新規の米飯給食事業の効果を検証したい



五十里 国明 議員



小中学校の給食に月1回提供

**問** 町長は3月定例会の提案理由説明で、小中学校の給食に入善産「富富富」を月一回提供し、その特徴である「うまみ」「甘

み」を実感してもらおうと、地産地消の推進と郷土愛の醸成につなげたいと述べられた。しかし、月一回の提供では少ないと思うが、どうか。

**町長** 富富富は新たな富山県産ブランドとして、首都圏など県外に積極的にPRされ消費の拡大を図っている。しかしながら、消費拡大のためにも、またその食味のPRのためにも、地元の富山県民が富富富の美味しさをしっかりと認識することが重要と考えた。

そのために、まずは町として子供たちに給食で、

しかも地元の入善産の富富富を味わう機会をつくることを考え、この入善産「富富富」米飯給食事業を行う予定とした。

この取組みで、うまみ、甘みを児童、生徒に実感してもらおうことで富富富の普及と町の農業体制への理解を深めるとともに、郷土愛の醸成につながることを期待している。

**問** 令和2年度の予算案に継続、拡充、新規事業の177事業が計画されているが、米飯給食事業費

「富富富」米飯給食事業費の予算は脆弱では評価を今後検討したい

18万4千円はあまりにも脆弱予算と思うが、どうか。

町民に声高に言える新規事業の金額ではない、再考を求めたい。

**町長** まずは事業効果を検証したい。その上で、子供たちからの評価、あるいは家庭からの評価などを今後検討したい。

週3回提供するよう事業費の組み替えを機運の盛り上がりを見た

**問** 米飯給食を週3回提供すれば、夏休みを除いて約11カ月の提供となるので、事業費は月20万727円となる。年間だと220万8千円か

ら230万円ぐらいとなる。令和2年度予算110億円内での組み替えは十分可能と思う。町長の決断で事業費を再考すべきと思うが、その考えはないのか。

**町長** まずは月に一回の提供で様子を見てみたいと思う。

町で行っている子供たちに対するL-92乳酸菌飲料などでは、それを飲むことが楽しみで学校へ来るといふ子供もいるように聞いている。

そのように、この米を食べたい、「富富富」を食べたい、という機運が盛り上がりつつあれば、皆さん方にも相談させていただきたい。

不妊治療助成制度の狙いと利用状況は  
 元気わくわく 子どもを産み育てやすい  
 健康応援課 環境づくりを整える



サンワエルにある元気わくわく健康課

**問** 町は平成30年度から、自己負担1割で不妊治療を受けることができる、助成制度を拡充した。これまでの利用状況を

示せ。

**福沢元気わくわく健康課長**

国の調査によれば、不妊検査や治療を受けた夫婦は5・5組に1組いるとされている。

平成30年度の利用状況は、一般不妊治療37件、特定不妊治療60件、男性不妊治療0件の計97件。この治療により19名のお子さんが生まれた。これは町の年間出生数のおよそ2割弱である。

令和元年度は、2月末現在で不妊治療費助成申請数が81件、妊娠届出数が20件となっている。

ストップ人口減少、子どもを産み育てやすい環境づくりによる出生数の

増を目指し、これからも子どもを望む夫婦を精

いっぱい支援していく。

**問** 妊娠や不妊に関する知識の普及啓発や、不妊に悩む方が相談しやすい環境づくりに対する町の取り組みを示せ。

**福沢課長** 普及啓発として、小中学校での性教育や、中学2年生の「いのちの教室」等を実施している。

また、不妊等に関する相談については、希望に合わせて、保健センターでの面談やメールでの対応も行っている。

必要に応じて富山県不妊専門相談センターの紹介など、治療者に寄り添

いながら切れ目のない支援に努めている。

**公共交通での近隣市町への乗り入れを望む**

**現在の運行体制を継続し利用促進を図る**

**問** 高校再編に伴い、通学手段として公共交通の果たす役割は大きい。

公共交通で近隣市町への乗り入れをできるようにするべきだ。

その要望は舟見と野中を除く8地区のうち、5地区から出されているがどうか。

**梅澤キラキラ商工観光課長**

近隣市町が運行する公共交通は、当町と同様にあの風とやま鉄道の駅を起点とした複数の公共交通を組み合わせており、主要施設への移動が可能

な状況である。

また、高校再編に伴う通学手段についても、同様と考えている。「のらんマイ・カー」と「ウチマエくん」は現行の運行体制を継続し、利用促進の検証を行っていく。

**新幹線ライナーは今後どうするつもりなのか**

**9月で廃止する代替案は検討していく**

**問** 令和2年度の新幹線ライナーの予算が9月までとなっている。今後どうするつもりか。

**梅澤課長** 新幹線ライナーは9月未までに廃止する。新幹線の二次交通対策は大変重要であり、代替案については、議員

の皆さんと共に研究を進めていく。



池原 純一 議員



五十里 忠茂 議員

# 1 小学校下1 保育所の統合に関する 年次計画の明確化を図るべきと思うが 地元検討会や地域の意見も伺いながら 町長

**問** 令和元年12月の全員協議会で、第6次入善町総合計画の実施計画が示され、横山保育所と柗山保育所の統合整備事業と

して、令和2年度から調査等を実施するとした。年次計画の明確化を図るべきと思うがどうか。

**町長** 町では、平成18年3月に策定した「入善町次世代育成支援対策施設整備計画基本構想」に基づき、1小学校下1保育所の整備に取組んできたところである。

平成21年4月に開所した「ひばり野保育所」の整備を皮切りに、「こあら」「さわすぎ」「にゅうぜん」の各保育所、さらには今年4月に開所する「いいの保育所」を含めると、5カ所の保育所の統合整備が完了したことになる。

老朽化している横山保育所



残すところは柗山、横山両保育所の統合のみとなったが、両地区からは、すでに「桃李小学校に隣接した場所での整備であれば、統合もやむを得ない」との了承をいただいた。

3月9日には、両地区の区長会長や保護者会長、地元選出の町議会議員などによる地元検討会を立ち上げ、第1回目の意見交換を行ったところである。

今後、地元検討会や地域の意見も伺いながら、統合に向けた年次計画の明確化を図って行く。

サイクリングコースの包括的な手立てを観光資源の情報発信に努める

**問** 海岸管理用通路を活用した富山湾岸サイクリングコース周辺を、一帯一路化すべきだ。

**梅澤キラキラ商工観光課長**

町の海岸沿岸部には、杉沢の沢スギをはじめ、じょうべのま遺跡、風力発電設備、園家山キャンプ場など、魅力的な観光資源が点在している。

新たなサイクリングコースは、町の一番の特徴でもある臨海型扇状地の末端部の地形を肌で感じる事ができるほか、現在、横山沖で計画されている洋上風力発電所見学への動線としても大いに期待ができる。

このコースの周知方法として、各種サイクリン

グ大会の活用が一番有効であると考えます。また、県指定のサイクルカフェである「にゅうぜん浜マルシェ」や、レンタルサイクル事業に取り組む「入善観光案内所」といった観光拠点の活用を図っていく。

**新型コロナウイルス感染症対策会議の内容は今後も情報収集に努める**

**問** 新型コロナウイルス感染症対策会議後の行動や指示の状況はどうか。

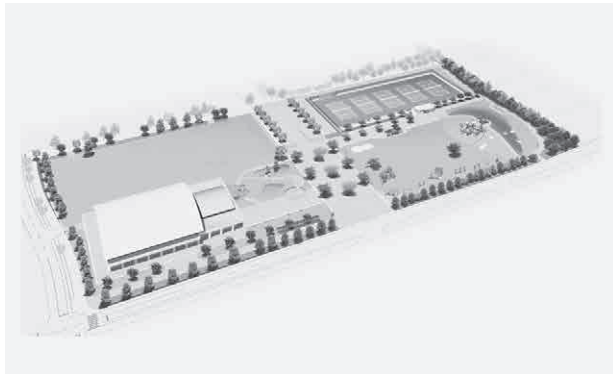
**梅津副町長** 緊急情報メールで町民へ感染症対策の周知をし、2月22日からの三連休に保健師を役場に常駐させ、問い合わせに対応できるように体制を整えた。

今後も情報収集に努める。

中央公園整備のコンセプトは

町長

子供たちの笑顔が響きあう  
魅力的な公園整備



整備される中央公園のイメージ図

**問** 中央公園整備の概要は。どのようなコンセプトで整備するのか。  
**町長** 町では「子供たちの笑顔が響きあう、魅力

的な公園整備」をコンセプトとし、令和3年度までの整備を進めている。公園部分の整備面積は約2万4千㎡となっており、屋内多目的施設、子育て広場、親水広場を新設するほか、テニスコート、ふれあい広場、中央広場を改修、再整備する計画となっている。

テニスコートは、既存の4面を新たに5面へと拡張し、砂入り人工芝に全面改修する。ふれあい広場は、中央広場の西側を約8500㎡の天然芝生広場として整備する。西側には小高い芝生の丘を配置する。広場内には大型複合遊

具やトンネル型の探検洞窟、大人や高齢者向けの健康遊具など、新たな遊びの要素を取り入れる。既存駐車場跡地には、全天候型の屋内多目的施設整備を予定している。施設内には、テニスコート2面分相当を確保した多目的広場と小さい子供を対象とした、こどもの国広場を整備する。

多目的広場は、砂を入れない人工芝にする。こどもの国は約400㎡を人工芝やゴムチップ舗装等で整備し、移動可能な遊具を設置する。

この施設は、災害時の緊急避難施設としての機能を持たせて、令和3年

度早期の完成を目指す。その周辺には、子育て広場と、水に直接触れ遊ぶことができる親水広場の整備も計画している。

**計画で一般事務職を7人増とした根拠は**  
**類似団体と比較し、20人の不足への対応だ**

**問** 第五次町職員定員管理計画では、一般事務職を令和6年度までに7人程度増員することだがその根拠は。7人の増で現在の労働力不足が解消されるのか。  
**町長** 必要な職員数を算定するに当たり、第四次計画における労働力不足への取組みの検証を行った結果、30人の労働力不足の解消は、おおむね達成されたと考えている。しかし平成30年4月時点における類似団体との

比較では、一般事務職が20人不足している状況が明らかとなった。職場における業務実態調査においても、20人程度の不足が確認された。

また、複雑・多様化する町民ニーズ等到的確に对应し、今後も良質で確実な町民サービスを提供するためには、業務量に見合った職員数の確保が不可欠だ。

そのため事務事業の見直し、継続的な職員のスキルアップにも十分に取組んだ上で、不足する職員数への対応として、7人程度の増員とした。

ただし、業務削減の効果や職員からの事務改善におけるアイデアを拾い上げることにより、7人程度増とする計画目標は必要に応じ、かつ、弾力的に見直していく。



中瀬 淳哉 議員



活用が期待される海洋深層水

# 深層水取水施設を増設する目的は

## キラキラ 商工観光課長

### 事業の発展と老朽化対策だ

**問** 深層水基本計画策定の予算が計上されているが、深層水取水施設をもつて一本増設する目的は何か。

**梅澤キラキラ商工観光課長**

深層水は現在、ウーケ工場の冷却、かきセンターの事業、牡蠣ノ星にも活用されている。また入善漁協のアワビ畜養、近畿大学のサクラムス養殖実験、フルハシEPO(株)によるスジアオノリの養殖実験も行われている。

かきセンターの事業拡大、スジアオノリ養殖の本格実施と、施設老朽化の対策として取水施設を増築したい。  
**問** 町民の財産である深層水を、新たに取水施設を増築してまで取水するのは、企業の雇用以外にも町民利益につながる



井田 義孝 議員

る仕組みづくりが必要だ。  
**笹島町長** 海岸道路整備などで観光地や市街地への誘引につなげたい。

**役場新庁舎はシンプルで使いやすいべきだ**  
**防災拠点として機能的な庁舎をしたい**

**問** 役場建て替えの最大の目的は耐震化だ。この際だからあれもこれもと付加機能を加えるのではなく、防災機能を高めたシンプルで使いやすい庁舎にすべきだ。

**町長** 災害時はサンウェルに医療救護本部、おあしす新川に福祉避難所、総合体育館に避難所と物資輸送本部、中央公園に

避難所とヘリポートの設置を予定している。

これらと連携して十分な防災用スペースを確保し、電源、通信、水道の予備ルートなどの防災拠点機能を備えた機能的で管理コストの少ない庁舎としたい。

**問** 職員の休憩スペースなど、働きやすい環境も考慮してほしい。  
**町長** そういった点にも目を向けていきたい。

**新幹線ライナーは廃止してウチマエくん**  
**9月で廃止し、二次交通の研究は続ける**

**問** 入善駅から黒部宇奈月温泉駅を結ぶ新幹線ライナーは利用者が減っているが、これを廃止し、ウチマエくんで行けるようにすればどうか。

**梅澤課長** 新幹線ライナーは北陸新幹線開業時の7895人をピークに利用が減り続け、令和元年度は4500人を下回る見込みだ。一台平均は0.5人の乗車率だ。予約制では、より経費がかかる。

9月いっぱい運行を廃止し、新幹線駅との二次交通は今後も研究したい。  
ウチマエくんでの運用は、経費や体制的に難しい。

**問** 町は公共交通を、高齢者など交通弱者支援に重要なと位置付けている。のらんマイ・カーを日中の数便だけでも復活しては。

**梅澤課長** バス路線の不便解消にウチマエくんを導入した。現状を継続したい。



## 庁舎整備検討特別委員会レポート

### 議会における庁舎整備の議論経過

#### 庁舎整備検討特別委員会の設置

平成30年3月、町議会に庁舎整備検討特別委員会を設置した。

この委員会では、耐震基準を満たしていない役場庁舎の整備手法や候補地の選定、事業費、財源などの検討を行ってきた。また、町民の意見の集約に努めてきた。

#### 庁舎の整備手法などの検討

現庁舎は昭和46年に建設され、築48年を迎えている。平成17年度に耐震診断をした結果、耐震基準に達していないことが判明した。

平成29年度に再度調査が行われ、当局から診断結果の報告があった。

それらの結果を踏まえ、

平成30年5月から現庁舎の耐震化や免震化、現在地での建て替えや移転建て替えなどについて、新たな工法の可能性も含めて議論を始めた。あわせて、県内の庁舎などの耐震化の整備手法について視察し、検討に入った。

当局からは、平成30年度中には現庁舎の耐震化あるいは移転建て替えについての結論を出したい旨の報告があった。

#### まちづくり懇談会で町民の意見を集約

平成30年度のまちづくり懇談会で町民から庁舎整備の必要性に理解が得られたとの報告があった。

町長は、12月定例会で庁舎の建て替えを表明し、特別委員会も同意した。

#### 新庁舎整備の財源

財源は、交付税措置がある有利な借入金として、緊急防災・減災事業債と公共施設等適正管理推進事業債の2つの起債の適用が考えられる。

しかし、緊急防災・減災事業債は令和3年度までに整備を完了すること、また、公共施設等適正管理推進事業債は令和2年度までに実施設計に着手することが適用条件となっている。

町は庁舎整備に備え、公共施設等整備基金を積み立てているが、その他にも財政調整基金、減債基金がある。

#### 新庁舎整備場所の選定

町は、平成31年1月に職員で構成する新庁舎整備庁内検討委員会を設置し、庁舎に必要な機能や整備概算額、候補地の選定について検討し、その結果が報告された。

その結果を受け、特別委員会は当局と協議を重ね、候補地の絞り込みに取組んできた。

当局は、令和元年度のまちづくり懇談会で庁舎移転整備について町民からおおむね理解が得られたと判断し、町長からは庁舎整備候補地が示された。

整備候補地については、議員からさまざまな意見が出され、何度も協議を重ねたが、最終的には当局から提案のあった中央公園

駐車場北側で整備することを了承した。

#### 今後のスケジュール

令和2年3月12日の特別委員会では、令和2年度予算で基本設計や実施設計等の委託料を見込んでおり、用地取得費などは補正予算で対応していくとの報告があった。

そのほか、事業スケジュール案や入善町新庁舎整備基本構想案が提示された。

有利な起債を財源として活用するには、令和2年度中に実施設計に着手し、令和5年度の整備完了を目指すタイトなスケジュールになる。

今後、議会としても町民の声が反映されるような庁舎整備となるように積極的に取組む。



建て替えられる役場庁舎

# 入善新幹線ライナー

## 9月末で廃止

2月20日に特別委員会が開催され、令和元年度の事業実績、今後の課題と方向性について議論した。

### 各事業の現状と課題

#### ●入善新幹線ライナー

北陸新幹線の開業に合わせて、平成27年から新幹線利用者の二次交通として運行を開始した。平成30年度に実施した実証実験では、一般利用者やビジネス利用の拡大を図ろうとルート変更などにも取組んだ。

しかし、利用者数は減少の一途をたどっており、令和元年度末は前年度の5500人を下回る4千人台に落ち込むことが予想される。

町内の主要な29社の事業所にアンケートを行ったところ、移動はタクシーやレンタカーを使っており、ほ

ぼ需要がないことがわかった。

新幹線ライナーについては令和2年9月末で廃止することとした。



#### ●町営バス

のらんマイ・カー

利用者は、令和2年1月末で1万7千人を超えており、令和元年度の実績も前年度並みの2万人超の利用者を見込んでいます。

#### ●デマンド交通

ウチマエくん

利用者数は順調に伸びて

いる。

月別利用者は昨年を上回っており、現段階で約1万3千人の利用があることから、令和元年度の実績は1万5千人を超えると思っている。

今後の課題として、登録者の利用率が上がらないことから、未利用者の傾向を分析するなど、利用率の向上を図る検証を実施したい。

また、今後増加が予想される免許返納者への周知を行うなど、新規登録者の着実な増加を図る取組みを推進していきたい。

令和2年1月末のウチマエくんの目的地ベスト5は、



- 1、コスモ21 1414回
- 2、丸川病院(リハビリ) 1201回
- 3、バーデン明日 562回
- 4、きららの里 370回
- 5、丸川病院(通院) 344回

### 質疑と委員からの意見

新幹線ライナーの質疑では「町民が新幹線駅に行くために予約制も手段の一つと考え、利便性の向上を図るべきだ」との意見に対し、「近隣の市町が実施している予約制についても検討したが、現状よりも経費が必要となる」との答えだった。

また「9月末での廃止は唐突だ」との意見に「今の

ところ有効な代替案はない。二次交通の重要性は理解しているので、新幹線駅へのアクセスを研究していきたい」との答えだった。

のらんマイ・カーの質疑では「利用者増について努力しているのか」との問いに「定期券・回数券を導入し、利用増を図っている」との答えであった。

「地鉄バス廃止の代替ではなく、運行コンセプトを見直す時期にきているのではないか」との問いには、「マイクロバスへの変更・代替を検討しながら現在の路線を維持したい」との答えだった。

ウチマエくんの質疑では「利用者から苦情はないのか」との問いに「予約センターや役場へ直接の苦情は無いが、電話がつながりにくいという話は聞いている。一方で、交通事業者が迎えに行っても、利用者が忘れていて家にいないなどのケースで、ダイヤに遅れが生じるとの報告がある」との答えだった。

## 環境・下水道対策特別委員会レポート

### 小摺戸浄化センター廃止で 年間2000万円の経費削減

3月13日に特別委員会が開催され、令和元年度の事業実績および入善浄化センターの設備更新計画などについて、町の報告を受け議論した。

#### 小摺戸地区の汚水は 入善浄化センターへ

福島の小摺戸浄化センターで処理していた汚水は、3月5日から入善浄化センターに送られ処理されている。

4月からは小摺戸浄化センターは廃止状態になる。

#### 3本のルートで分散 して送る

小摺戸浄化センターで処理していた汚水は、令和元年度に1・5kmの管路を整備するなど、現在2ルートで入善浄化センターに送っている。新年度の工事で3ルートになる計画だ。小摺戸浄化センターから

海側の汚水はポンプで同センター付近に圧送している

が、工事が完成すれば、自然流下で下流に送られ、ポンプ4機が不用になる。

こうしたことで、年間約2000万円の経費を削減できる。

#### 機械装置更新に今後 4年間で2億6千万 円

入善浄化センターでは、微生物で汚水を分解している。この微生物の生存のために、曝気装置で処理槽に酸素を送り込んでいる。

今後、曝気装置4機やポンプの更新などに、4年間で2億6300万円を見込んでいます。

#### 新年度も使用料の値 上げはせずに

これまで下水道特別会計の基金が無くなる事が予想されたことから、使用料

の値上げを検討してきた。

令和元年度の基金からの繰り入れは、約2000万円で済む見込みなので、令和2年度も使用料は値上げせずにすむ見込みだ。

#### 借り入れ残高は 129億5千万円 基金は3億6千万円

町が下水道整備の際に借り入れた起債残高は、平成24年度の150億円がピークで、令和元年度では129億5千万円となる見込みだ。

また、基金は平成22年度

までは10億円を超えていたが、令和元年度末の見込みは3億6千万円余だ。

#### ◎委員会での質疑応答

#### 住民の負担増を抑える ためにも財政見通しを示せ

Q 使用料値上げは住民の暮らしに直結している。これまでも、なるべく負担増にならないように議論してきた。

A 一般会計から繰り入れることも法的に問題はない。

Q そういったことを議論するために、委員会には常に財政見通しを報告すべきだ。

A また、値上げについて、まちづくり懇談会で町民に意見を聞くべきだ。

Q 6月に決算が出るの  
で、そのときに今後の収支見通しを報告し、意見を伺いたい。

#### 国は広域化、共同化 を勧めるが県東部は 困難

Q 全国の市町村で借り入れ返済が負担になっている。強力に整備を進めてきた国の責任も大きく、国交省に対策を求めてきた。

A 同省は、近隣市町との広域化、共同化を勧めており、町も取組むべきだ。

Q 県東部は川で区切られており、共同処理は困難。また、施設をどこに造るかで住民感情も出てくる。

A 共同で取組む場合は、お互いの市町にメリットがあるかどうかを見極める必要がある。

#### ◎参考

(下水道特別会計の歳出入訳)  
令和2年度予算の歳出総額は13億9千万円で、うち借り入れ返済が9億6千万円、管理費2億9千万円、整備費1億4千万円となっている。



廃止された小摺戸浄化センター

## 事業紹介

# 保育料の軽減・無料化と副食費無料化

入善町では「ストップ人口減少」を掲げ、子育て支援に力を入れている。その一つとして、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、保育料の軽減・無料化、副食費の無料化を行っている。

### 1、令和元年9月まで

町では、平成27年度から第3子以降の保育料を無料化、平成28年度から第2子の完全半額化（世帯収入同時入所を問わず）、平成30年度からは第1子も4分の1の軽減を行ってきた。

これまで、例えば世帯収入470万円の家庭では、第1子（3歳以上の標準時間）保育料が月1万8千円から1万3500円に、第2子は9千円に軽減されてきた。（3歳未満はそれぞれ1万5千円と1万円）。

また、給食の副食費については、この保育料に含まれるものとされていた。

### 副食費無料化

この制度の実績は、平成30年度で第1子355人、第2子297人、第3子以降138人で、1億102万円余りの事業であった。

### 2、令和元年10月から

令和元年10月から国の制度により、3歳以上児の441人が保育料無料となった。

3歳未満児は無料化の対象外だが、令和元年9月までと同様の軽減が293人を対象に行われている。

### 3、副食費の無料化

3歳以上児の保育料無料化の一方で、これまで保育料に含まれていた副食費は無料化の対象から外され、保護者から実費徴収することとされた。

町ではこの副食費部分についても、町の予算で無料とすることとし、3歳以上児の副食費を徴収していない。

この副食費無料化に関しては、町外の保育所や認定こども園等へ通っている子どもに対しても、国が目安としている月額4500円を上限に支援している。この事業の令和2年度予算は430人分を見込み、2426万9千円となっている。

### 4、ひとり親家庭等の無料化

保育料はそもそも、世帯収入に係る町民税課税額によつて定められている。生活保護や町民税の非課税世帯など所得の低い家庭、ある程度の収入までのひとり親世帯は無料になる。また、第1子は無料にならなくても、第2子は無料になる場合もある。

詳しくは、役場結婚・子育て

て応援課72-11852へ。

### 今後の課題と期待

全国的な少子化への対策として、国が3歳以上児の保育料を制度化したのは前進だが、副食費を保護者や町に押し付ける形となっている。また、2人目を産み育てるには、まず第1子こそ支援しなければならぬが、3歳未満児は無料化になっていない。

町は独自の軽減を行っているが、3歳以上児と同様、国の制度で保育の完全無料化を望みたい。

## 編集の窓

『悲しき熱帯』という旅行記がある。その一文に「世界は人間なしに始まったし、人間なしに終わるだろう」という記述がある。

コロナウイルスは恐ろしい。しかし、人類はこれまで、多くの困難を克服してきた。今、市井の私たちができることは、自制し耐えることかもしれない。

それが、未来への私たちの果たす義務、だと思う。



### 議会広報編集特別委員会

議長	野島 浩
委員長	本田 均
副委員長	井田 義孝
委員	五十里忠茂
委員	田中 伸一
委員	中瀬 淳哉
委員	池原 純一

## 議会だより入善

令和2年4月27日 発行

〒939-0693

富山県下新川郡入善町入膳3255

☎0765(72)4806

FAX 0765(72)4711